

「平成29年度 学校関係者評価結果報告書」の公表について

平成29年度における当校の学校関係者評価を行い、ここに、【学校関係者評価結果】報告書を公表いたします。
 今後は、報告書にある改善事項等を実行し、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思っております。今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

適正度 4:優良 3:適切 2:要改善 1:不適切

評価項目	学校関係者評価結果		学校関係者評価結果を受けての改善事項
	適正度	ご意見	
来年度の重点課題に対する取組方法	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自己点検表(変更)に従い、適切なエビデンスを収集することが大切です。 教育の質を高め、学生と教員にとってやりがいのある学習の場を作ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 「使える人材」の育成と「入学して良かった」という満足感を同時に満たす教育を目指していきたい。 エビデンス収集を全校で徹底する1年とする。
1 教育理念目標	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 教育理念、目標等を、広報等を通じ、一般にわかりやすく周知していることが評価できる 	
2 学校運営	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 概ね問題ないと思われるが、対外的に公開できる情報を増やす必要がある。 必要と思われる業務内容やそれ以外の事のマニュアル化はとも良いと思います。 シラバス公開や、ハラスメント等に対応するマニュアルはより大切になると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> 機会を捉え、情報発信に積極的に取り組むこととする。 マニュアル類もエビデンスの一部と位置付け、拡充に取り組む。 今年度末までにシラバス公開を実現する。
3 教育活動	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 専門性が必要とされる時代の流れに合ったカリキュラムを学生に対して導いている事はすばらしいと感じます。 他の授業がなにをしているのか不明なものもあり連携不足を感じる。 教員の質向上(全体的なレベルの引き上げ)等を行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き教員のスキルアップのため研修を奨励する。 教員間の情報交換を活発にする。
4 学修成果	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 卒業、就職の先の、離職率を下げる活動も必要と思います(卒業生支援)。 学生のモチベーションを保ちつつ、卒業率を上げていく。 人材は人財の時代であって、90%を目指す事は難しい事だと思いますが、学生が希望する進路にお手伝いできる体制は維持して頂きたいと思っております。 	<ul style="list-style-type: none"> 退学率低減のため、引き続き有効な策を検討実施していく。 卒業生支援の具体的方法について研究を行う。
5 学生支援	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生に積極的に関わってもらえる様な事を考え、卒業生とのつながりをもっと密にした方が良いと思う。 全体的にまとまっているが、細かな部分までの支援がまだ不足きみ。 相談専門ダイヤル等作ったらどうか。窓口でも良いし、言いたい事がある時に、寄り添える様な環境があると良いかと思う。 休退学者については、ゼロには出来ないまでも、カウンセリング等すぐ努力されている結果として、これだけに抑えられているのだと思う。 保護者に対する対応を含めて考えて頂ける学校は、専門学校ならではの、引き続きサポート体制に期待できると感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談体制を見直し、新たな組織の構築を目指す。 学校公開日を利用し、卒業生対象のジョイントイベントを企画検討する。
6 教育環境	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 概ね問題なし。 学生が安全に学ぶ場所は大切ですので、引き続き先生方の御協力が大切だと思いました。 むずかしいかと思っておりますが、WiFi環境がもう少し改善すればと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> WiFi環境の改善についてはIT推進委員会の課題として取り組む。
7 学生の受入れ募集	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 消費税増税の問題もある中で、高校との連携を考えておらずばらしいと思います。 外部へのPRが全く足りていないと思います。 パブリシティに関しては、時代に適したPR方法が出来ていないと思う。「今」の時代に適した方法を検討して行く必要があるのではないかと。 学力的な部分も重要だが、各分野ごとの適性判断も入学時に必要だと思う。 動物看護師だけでなく、関連する業界で動物に関わっていけるような分野での資格をとれるようなフレキシブルな対応を取れる専攻に煮詰めていければ良いと思う。もちろんそれが一つの売りになる。 何を誰にどの様に見せるか？という事をちゃんと考えて、広報、パブリシティをやっていく必要があると思う。また、それを続けていくことで、学生の質も高まっていくのではないかと。 クリエイティブデザイン学科のパブリシティ活動を新聞等でよく見かけますが、その他の学科でも、興味を持つ人々に印象に残るPRが出来るのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 学科の教員から高校生に直接情報を伝える機会を積極的に設けたい。 有効なパブリシティ活動について引き続き研究を続ける。 動物看護師学科については、統一カリキュラムの見直し年度であるので、地域性と業界の現状を考慮して進めたい。
8 財務	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 問題なし。 新入生安定確保の為に広報活動は弱いと感じます。 適正に行われている事が一番大切ですので、維持して頂けたらと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生募集は総合的に取り組んでいく。
9 法令等の遵守	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 報告・連絡のしやすいしくみづくりも大切かと思っております。 自己点検を行うにあたり、共通の評価マニュアル等が必要。 自己評価は自分を見直す事にもつながると思うので年2回程行うのも効果的かと思っております。 今後の体制で検討されている通り、内部を見れる体制づくりに期待しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 内部監査体制の構築に着手したい。
10 社会貢献・地域貢献	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 問題なし。 子供に楽しんでもらえる環境、地域に使ってもらえる環境の提供も良いと思います。 学生の活動を新聞などで目にする事が多くなり取り組みがよくわかります。 校外活動は、世間の目に触れ学校周知にもつながるので、社会や地域貢献の為にたくさん活動してもらいたいと思っております。 引き続き地域に根ざし、学校である為にある事を期待しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を参考に、検討させていただきます。
その他のご意見		<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	

※適正度は、全委員の平均値を表示
 ※ご意見は要約させていただきました。

以上

第5回学校関係者評価委員会 実施日時:2018年3月15日(木) 18:00~19:30

学校関係者評価委員

委員長 片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 准教授	加藤 博史	医療法人社団敬仁会 桔梗ヶ原病院 放射線部 技師長
伊藤 亮二	松本商工会議所 事務局長	溝口 諒	でざいと 代表
荒崎 元徳	株式会社たはな Web事業部 レンタル衣裳・Comチーム	田中 優子	卒業生同窓会 会長
澤田 友行	ナチュラル・サワダ 代表	小野 キミ子	Wonder House 経営者
山田 佳代子	ポアレスチュール 店長		

学校職員(オブザーバー)

千村 重平	学校法人未来学舎	専門学校未来ビジネスカレッジ	学校長
小池 成仁	学校法人未来学舎	専門学校未来ビジネスカレッジ	副校長
堀内 貴彦	学校法人未来学舎	専門学校未来ビジネスカレッジ	教務部長
望月 弘	学校法人未来学舎	専門学校未来ビジネスカレッジ	質保証推進室長